

矢川徳光 ゆかほ 教育評論家。明治二十二年十一月二十一日長崎縣生れ、昭和五十七年一月二十二日歿（一九〇一—八二）。筆名鈴木次郎、青山清。大正十五年京都帝國大學文學部英文科卒。日本大學豫科教授となり、昭和五年新興教育研究所創設に参劃（中央委員）し、ソ聯教育學を紹介。戦時中は大日本青少年團本部教養部長。戦後石山脩平、梅根悟等の新教育批判を展開。二十五年ソビエト教育學研究會を創設。

譯著書に、G・ウイルソン著『大科學者傳』(譯、昭和十四年六月一日二宮書房)、サリヴァン著『科學の限界』(譯、昭和十六年四月一日六日創元社「創元科學叢書」)、ジョン・ガンサー著『死を誇るなかれ』(中野好夫共譯、昭和二十五年七月二十一日岩波書店「岩波新書」)、ロンドンとモスクワの教育の比較(昭和二十年七月一日岩波書店「新書シリーズ」)等。

